

会 議 録

会 議 名	第 2 7 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 4 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和 5 年 9 月 5 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～1 1 時 1 0 分		
開 催 場 所	公民館貫井南分館学習室 B		
出 席 委 員	今村誠委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員 齊藤美恵子委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	阿部光子委員		
事 務 局 員	松本浩明主任、伊藤修主事、永嶋汐美 (会計年度職員)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者 数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	<p>1 高齢者学級の野外学習について</p> <p>2 令和 5 年度の講座企画について</p> <p>3 公民館緑分館主催講座にかかる協力について</p> <p>4 各講座の報告と計画</p> <p>〔報告〕サマーコンサート「ハワイアンクラシック」、市民講座「親子で社会科見学 川越市立博物館&川越城本丸御殿、笛木醤油工場」</p> <p>〔計画〕高齢者学級「けやき学級」、成人学校「ハワイアンリボンレイ ネックストラップ製作」、成人学校「楽しくトレッキング紅葉編～都民の森」、成人学校「水引細工の正月飾り」</p> <p>5 その他 ・公民館企画実行委員連絡会について</p> <p>次回の日程 令和 5 年 1 0 月 3 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 公民館貫井南分館学習室 B</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 高齢者学級の野外学習について

7月に開催された高齢者学級担当者会議で、観光バスでの野外学習については、特定の市民だけが恩恵を受けている、大人数でバス駐車場や食事会場の確保が難しい、受講者の平均年齢が年々上がっているところからくるバス移動時間がしんどいなどの理由から“廃止の方向”と結論付けられた。これに各館の企画実行委員の意見を集約し、8月28日（月）開催の分館長会議で協議し、野外学習は交流の要、目玉カリキュラムであり、観光バス運行委託料をなくせば復活は難しくなることから、継続とした。ここの議論では「観光バス」使用の是非と確認し、各館の企画実行委員の態勢、実情に違いがあり、各館共通のこととして揃えられないことから、結果的に高齢者学級での野外学習は2回程度とし、バス、電車にこだわらないこととした。また、各館の学級生人数については、各館の実態に合った人数とすることとなった。

2 令和5年度の講座企画について

成人学校1回分、市民講座3回分の未定分について、職員（伊藤主事）から市民講座で（仮タイトル）「認知症」についての提案があり、若年性認知症も含め今後具体的な講座の構成（全2回）について、認知症の薬についても併せて金ヶ江委員と検討していくこととなった。残りの市民講座案については、松本主任から出されたいくつかの案の中から、（仮タイトル）男性向け「定年準備講座」に金ヶ江員から賛同を得て、「これからの時代の働き方」概念を含めた形での内容検討に入ることとなった。また、（仮タイトル）快眠講座を成人学校で実施みてはとの意見が委員から出され、併せて検討することとなった。

3 公民館緑分館主催講座にかかる協力について

緑分館主催「成人大学講座」（全3回）のうち、第1回目の講座を緑分館企画実行委員へのテスト配信したところ不具合が認められなかったことから、9月9日（土）・16日（土）開催分について、他館の企画実行委員への配信を行うこととなった。については、事務連絡にあるとおり、受講方法、講座申込方法に従って受講の協力を行う。受講結果について情報を各館で集約する。

4 各講座の計画

【報告】

○サマーコンサート「ハワイアンクラシック ヒリウ」

8月6日(日)午後1時30分に開演、ヒリウの歌唱、バックの演奏、歌唱に合わせたフラダンス、音響効果どれを取ってもレベルの高いコンサートであった。募集50人は初日で一杯になり、参加も当日参加者もあり53人となった。参加者の方はかなり満足したようであった。アンケートにもあったが、パンフレットができなかったことは残念であった。

○市民講座「親子で社会科見学 川越城本丸御殿・川越市立博物館と笛木醤油」

8月23日(水)に実施。当初、行先は遠山記念館と大人向けのものであったためか、応募が定員に達しなかった。実踏後に遠山記念館(川島町)のみを同町にある笛木醤油工場見学へ変更し、再度、募集をかけたが中々応募がなく、公民館運営審議会委員の方にも応募の支援をいただき、定員12人のところ11人の応募となった。今後は、行先及び日程(夏休み初旬へ)の更なる検討を要することとなった。

【計 画】

○高齢者学級「けやき学級」

9月6日(水)に「朗読を聴こう」で後半初日を迎える。13日(水)実施のガスマジウム(小平市)への訪問については、6日に学級生宛て説明を行う。その中で、基本、現地集合・現地解散としているが、JR武蔵小金井駅北口3番乗り場から西武バス(東久留米駅西口行き)に乗車する際に、企画実行委員がバス出発時間の9時8分、9時25分に学級生と同乗できるように待機する。このガスマジウム見学については、9月6日時に説明を行う。なお、学級生に体調不良のため1人の退会者が発生した。

○成人学校「ハワイアンリボンレイ ネックストラップ製作」

9月30日(土)午前10時から正午に実施予定。市報9月1日号、月刊こうみんかん9月号で募集、現時点で応募が定員10人を超えている。9月11日が申込期限となり、翌日に抽選を行う予定。また、今回の講座で応募が多数の場合に2月に実施を検討する。

○成人学校「楽しくトレッキング紅葉編～都民の森」

10月27日(金)午後2時から4時に事前学習、31日(火)に実施予定。市報10月1日号、月刊こうみんかんで募集。行程中、マイクロバスでの移動の際、トイレ休憩は復路で行うことを検討する。

○成人学校「水引細工の正月飾り」

1 2月2日(土) 午前10時から正午に実施予定。市報11月15日号で募集。

4 その他

・公民館企画実行員連絡会(緑分館担当)について

1 1月7日(火) 午後2時から3時30分に開催予定。

次回の日程(予定) 令和5年10月3日(火) 午前9時30分～ 学習室B

高齢者学級担当者会議 令和5年7月19日（水）

「野外学習（観光バス）について“継続”or“廃止”」についての協議

〔現状〕 1館当たり約13万円かけ、野外学習（県外）として行っている。

〔経過〕 高齢者学級は平成10年から野外学習を社会福祉協議会所有バスで実施。平成30年度で社協バス廃止により、令和元年度から観光バス運行に変更となった。

〔問題点〕

- ・特定の市民だけが恩恵を受けている。
- ・平均年齢も上がってきている中、リスク責任持てるか、今後やっていけるか安心安全な運営が可能か。大型バスでも乗って2時間以上揺られるのはしんどい方もいる。
- ・予算減額に伴う行先の変更が生じる。
- ・大人数でバス駐車場、食事会場の確保が難しい。

〔背景〕 「参加者からもここまでしてもらわなくても」と少数意見が出ている。

〔結論〕 **廃止の方向としたい。**

〔廃止とした時の問題点〕

- ・来年度の学級人数 20人→30人（予定）
観光バスに代替交通手段
電車・・・高齢者をさばききれるか。
マイクロバス（28人乗り）・・・スタッフ含めると全員乗車できない。
コスト・・・利用料金も1台に6～7万円かかる。

.....

企画実行委員の会議で出た各館の企画実行委員の意見

（貫井南分館）

- ・ 特定の市民だけが恩恵を受けると言うが、講座としては公募であるため公平性がある。
自分であちこち行く事が出来ない人にとってはありがたい機会が無くなるのはどうか。
- ・ バス以外での実施は迷子が予想される。
- ・ 20人で、大型バスで出かけることに違和感がある
（コロナで二人掛けを一人で座っていたけども）
- ・ 全て無料に驚いた。参加費を取ってもいい。
- ・ 他館でも行ったが、（野外学習を）なくすのも有りだと思う。
- ・ 大型バスではなくマイクロで行くのも有りかと思う。
- ・ 公共交通機関を使う場合、交通費は出るのか？

（貫井北分館）

- ・ 大型バスでの実施を継続する。（総意）

（東分館） 6人中5人 辞めることに対して反対はない。2回の公共交通機関でどうか。

- ・ 特段、異議などありませんが、1つ気になったのが、来年度の事業で、野外バスを辞めるとするのは、どのような意見が出たからなのでしょう？
バスを辞めて、今まで使っていたそのバス予算を違うところにまわすという事でしょう

か？

南分館など野外バスが結構さかんなイメージがありますが、全館バスは無しにするという見解でよろしいのでしょうか？

（緑分館）

- ・参加者の中には「一部の人のためのために税金を使うのはどうなのか？」との発言については分からないではないが、電車での移動となった時に30人で難しい。
- ・目玉で楽しみにしている人もいる。なくさない方が良いという人もいる。

（本館）

- ・社会福祉協議会所有の大型バス（みどり号）が使えなくなった（8～10年程前？）ため、バスは現在賃貸借となっている。実情を鑑み見直す時期ではという感もあり、その予算を他に回せば良いのだが。
- ・予算の懸念もあると思うが、それだけで高齢者学級の目玉とも言える野外学習を止めてしまわない工夫も必要では。例えばもっと参加者から費用を徴収したら？
- ・野外学習の目的（歴史・文化等の実地学習、数時間を共に過ごすことによる親睦と交流を深める）を考えると、高齢者学級の狙いに合致し、目玉プログラムでもあり、是非残すべき。単なる物見遊山で終わる企画ならばやめるべき。
- ・特定の市民だけが恩恵を受けているとの声については、抽選で外れたりはあるが、意思があれば高齢者の誰もが参加でき、毎年開催され、累積では多くの方が恩恵を受けている。（応募もしないで）特定の人だけがというのはおかしい。

【意見集約】

「継続」 貫井北分館

「どちらとも言えない」 貫井南分館、本館、緑分館

「廃止でもよい」 東分館

【注意点】

- ・旅行業法
- ・一般貸切旅客自動車運送事業

【分館長会議での協議結果】

高齢者学級担当者レベルでは「廃止」、各館の企画実行委員意見集約では継続、廃止、どちらとも言えないと意見がばらばら。

- ・野外学習は交流の要、目玉カリキュラムである。
- ・観光バス運行委託料をなくすと「復活」は難しい。

★ここでの問題は、「観光バス」の是非であることを確認。

他の要因、各館企画実行委員の態勢、実情に違いがあり、揃えられない事情がある。

【結果】

- バス、電車利用にこだわらず、野外学習は2回程度とする。
- 学級生人数についても、各館の事情に応じた人数とする。

「認知症（仮）」

1. 目的

高齢化社会のなかで認知症が増えている現状だが、改めて認知症についての理解を深める機会になればと考えている。また、若年性認知症という独立した病気があるわけではないが、若年性認知症（※）についても一定数患者がいることを知ってもらおうきっかけとしたい。

※40歳から64歳に発症する初老期認知症に、18歳～39歳までに発症した若年期認知症を加えた認知症の総称。

2. 内容

認知症の脳の変化や病理学的所見を踏まえて、認知症についての理解をしていただき、そして、その認知症の予防には、どのような生活習慣や食事が重要であるかを伝える。

3. 講師

羽賀千恵先生【旧 東京都精神医学総合研究所（現 東京都医学総合研究所）認知症プロジェクト技術研究員】

臨床検査技師、社会福祉士、精神保健福祉士の資格も有

4. 実施日程（予定）

令和6年2月か3月

令和5年度 市民講座（案） 松本

男性向け 定年準備講座（1回）

目的 働き方、年金制度の変革の中、働き盛り年代の40代50代が定年期を迎えるに当たり、今後、どう働いたら老後？を安心して迎えらるのか学習します。

講師 定年後研究所

日程 12月中旬？

快眠講座（2回）

目的 ストレス社会と言われて久しい現代、質の良い睡眠をするにはどうすればよいか学習します。

講師 岡島 義（東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科准教授）

瀧野 茂樹（睡眠改善インストラクター・たきのふとん店店主）

日程 1月下旬？

少子化に伴う日本経済の行方

目的 少子化に伴い、今後顕在化する諸問題を学習する。

講師 守泉 理恵（国立社会保障・人口問題研究所）

山田 昌弘（中央大学文学部教授）

日程 1月下旬？

都市部の市町村における積極財政政策

目的 住民税・固定資産税が基幹税である市町村の行方を学習する。

講師 佐藤 一光（東京経済大学経済学部准教授）328-7711

総務課：山田 soumu@s.tku.ac.jp へ。

その他

- ・アルコールとの付き合い方講座
- ・相手に伝えるということ
- ・NISA って？
- ・インボイス制度とは
- ・関東大震災から100年

(宛先) 各館企画実行委員

公民館長 鈴木 遵矢
(公印省略)

公民館緑分館主催講座にかかる協力について (依頼)

公民館緑分館主催講座である「成人大学講座」において、zoomを用いたオンライン配信のテストを行います。つきましては、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

1 日時

令和5年9月9日(土)、9月16日(土)

いずれも午後2時から4時まで(入室開始は午後1時30分より)

2 対象

各館の企画実行委員

3 受講方法

(1) ご自身のスマートフォンまたはパソコンにて“zoom”をインストール(既にインストール済みの方は、最新の状態にアップデート)。

(2) 緑分館から送られてくるURLをクリック。パスコードを入力し、入室。

4 講座申込方法

(1) 各開催日の前々日(いずれも木曜日)の正午までに、「成人大学講座オンライン受講希望」のメールを公民館緑分館(メール:k020414@koganei-shi.jp)宛に送付。

(注意:メールには、所属館と氏名を忘れずに記載してください)

(2) 返信メールにURLとパスコードが記載されていることを確認。

5 注意点

(1) 講座の録画・録音はご遠慮ください。

(2) 講座中、何らかのトラブルが発生した場合は、公民館緑分館へご連絡ください。

(3) オンライン受講での講師への質問は受け付けておりませんので、予めご了承ください。

(4) 今回は、オンライン受講についてのテスト運用です。講座終了後に、どのような状況であったか、お教えいただけますと幸いです。(例:終始画面がカクカクしていた/音声途切れることが多々あった/画面共有が表示されなかった/講座として成立しなかった 等)

担当 公民館緑分館 田中 (電話 042-387-7301)
公民館本館 落合 (電話 042-383-1184)

貫井南分館

音楽鑑賞のつどい

「サマーコンサート
～ハワイアンクラシック ヒリウ～」

目的 ハワイアン音楽に触れ、音楽の楽しさを感じてもらう。

日時 令和5年8月6日（日）午後1時30分から午後3時まで

内容 Aloha 'Oe
Puia Ka Nahale
君が大好き ほか



出演者 Hiliu(ヒリウ)

場所 公民館貫井南分館学習室A・B

募集方法 市報、月刊こうみんかん、チラシ、ポスター
ツイッター、ホームページ

募集対象・受講者人数等 募集 50人（先着順。市内在住、在勤、在学の方）
受講 53人（男性9人、女性44人）
キャンセル発生分を当日来館で受付した。

受講者年代別内訳

10歳以下	3人	10歳代	1人	20歳代	1人
30歳代	0人	40歳代	5人	50歳代	11人
60歳代	15人	70歳代	11人	80歳代	4人

担当企画実行委員 今村 誠、高橋 陽子

担当職員 伊藤 修

担当職員感想 応募は早めに定員となり、音楽鑑賞のニーズの高さを改めて実感したところである。ハワイアンにこれほど関心が高いことに驚いたが、楽しんでいただけたようで安心した。

参加者感想

- 楽しい時間を過ごせました。また来たいです。
- とても素晴らしいステージでした。この暑さの中、さわやかでとても気分が良く見させて頂きました。音楽も踊りも最高です。
- 素晴らしい音楽と歌と踊りで感激しました。又、見たいです。

貫井南分館

市民講座

「親子で社会科見学～川越城本丸御殿・川越市立博物館と笛木醤油～」

目的 親子のコミュニケーションを図るとともに、夏休みの自由研究にも役立ててもらおう。

日時 8月23日（水）午前8時から午後5時まで

場所 川越市立博物館
川越市郭町2-30-1
川越城本丸御殿
川越市郭町2-13-1
笛木醤油 金笛しょうゆパーク
埼玉県比企郡川島町上伊草660



募集方法 市報7月15日号、月刊こうみんかん7月号、ホームページ、チラシ、ポスター、ツイッター

対象 市内在住、在学の小学生と保護者
(小学生のみの応募は不可。保護者同伴。)

人数等 募集 12人（多数抽選） 応募 11人 受講者 8人
(男性3人、女性5人)

※ 応募が少なかったため全員当選とした。3人はキャンセル。

担当企画実行委員 高橋 陽子

担当職員 伊藤 修

担当職員感想 募集人数に対し応募が少なく、行先変更を行った経過があり、来年度は行先、時期ともによく検討を行いたい。

参加者感想 ○しょうゆを作る工場も見学できたし、博物館も行けて楽しかったです。また参加したいです。うどんも美味しかった。
○川越の歴史をしっかりと学べて、初めて知る事が多く学びになりました。夏休みに、親子で一緒に参加が出来るととても有意義な時間になりました。参加した母子同士も仲良く過ごせて子育て世代の母の楽しめる時間になりました。親子での企画は、今後も続けて行って欲しいと思います。